

令和6年度 沖縄県高等学校総合体育大会
第72回 沖縄県高等学校バレーボール競技大会
抽選会および代表者会議資料

日時：令和6年5月15日（水）14：00
場所：那覇市民体育館 サブアリーナ

1. 競技日程および会場

令和6年6月1日（土） 男女1回戦
沖縄工業高校 E・F 南部工業高校 G・H 向陽高校 I・J

令和6年6月2日（日） 男女2・3回戦
沖縄工業高校 E・F 那覇商業高校 K・L 浦添工業高校 M・N 小禄高校 O・P
那覇国際高校 Q・R 那覇工業高校 S・T 中部商業高校 U・V 西原高校 W・X

令和6年6月3日（月） 男女準々決勝戦および決勝リーグ第1戦
那覇市民体育館 A・B・C・D

令和6年6月4日（火） 男女決勝リーグ第2・3戦
那覇市民体育館 A・B・C・D

※ 決勝リーグ第2戦は、4コートで同時に行い、第3戦はB・Cコートで行う。

<最終日のコート、組み合わせおよび試合順について>

決勝リーグ第2戦は、4コート同時に行い、その組み合わせは、「第1戦の勝ちチーム」と「未対戦の第1戦の負けチーム」とし、上位シードを有するチームの試合をB・Cコートで行う。ただし、シードが同順位、または、どちらもシード権を持っていない場合には、組み合わせ表の左に記載されているチームの試合をB・Cコートで行う。

決勝リーグ第3戦は、B・Cコートで行い、第1戦の負けチーム同士の試合を先に、第1戦の勝ちチーム同士の試合を後に行う。

2. 開館および試合開始時刻

1日目のみ、開館時刻08：30、試合開始時刻09：30

2日目以降、開館時刻09：00、試合開始時刻10：00

3. 参加チーム一覧

【男子】 辺土名 北山 名商工 名護 北農 石川 前原 具志川 読谷 嘉手納
美来工科 コザ 美工 球陽 北谷 普天間 宜野湾 西原 浦商 浦工 陽明
昭薬附 浦添 那工 那国際 興南 首里東 首里 沖工 沖尚 那商 那覇
小禄 那覇西 開邦 南風原 知念 豊見城 豊南 南農 向陽 糸満 宮古
宮総実 八重農 八商工 八重山 男子47(43)チーム

【女子】 北山 本部 名商工 名護 宜野座 石川 具商 前原 中農 具志川 与勝
読谷 嘉手納 美里 コザ 美工 球陽 北中城 普天間 中商 宜野湾 西原
浦商 陽明 昭薬附 浦添 那国際 興南 首里東 首里 沖工 沖尚 那商
那覇 小禄 那覇西 開邦 南風原 知念 豊見城 豊南 南農 向陽 糸満
久米島 宮古 宮総実 八重山 女子48(46)チーム

計95(89)チーム

()内は昨年度の数

4. シードチーム

- 【男子】 第1～4シード：西原 首里 コザ 美工
ベスト8シード：豊見城 普天間 宮古 八商工
会場運営シード：沖工 浦工 那工 西原 (8分の1ゾーン)
- 【女子】 第1～4シード：首里 コザ 知念 小禄
ベスト8シード：具商 普天間 中商 前原
会場運営シード：那商 小禄 那国際 中商 (8分の1ゾーン)

5. 抽選手順

- ① 第1～4シードを入れる
- ② ベスト8シード：予備抽選 ⇒ 位置抽選
- ③ 離島チーム：予備抽選 ⇒ 位置抽選（初戦での離島チーム同士の対戦を避けるため）
- ④ 会場運営シード：予備抽選 ⇒ ゾーン抽選+位置抽選
- ⑤ 北のチームから：予備抽選 ⇒ 位置抽選

6. その他

- (1) ユニフォーム規定等について
- (2) 2024年度競技日程等について
 - 定通夏季 (宜野湾高校) 6/ 8 (土)
 - 県1年生 (南部地区) 8/12 (月)・14 (水)
 - 春高予選 (中部地区) 10/26 (土)～28 (月)・11/4 (月)
 - 定通秋季 (宜野湾高校) 11/ 2 (土)
 - 県新人 (八重山地区) 12/14 (土)～17 (火)
 - KBC 学園杯 (中部地区) 1/25 (土)～1/27 (月)

競技運営上の確認事項

大会競技委員長

1. 本大会は、2024年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則および競技要項により実施する。
2. 試合は全て3セットマッチとする。準々決勝戦までトーナメント方式で行った後、上位4チームによる総当たりの決勝リーグ戦を行う。
3. 大会3日目の那覇市民体育館のコート設営は、補助役員が08:30に入館して行う。
4. 監督またはコーチは、試合当日に各会場にて行われる代表者ミーティング*に必ず参加すること。ただし、第4試合以降のチームについては、その限りではない。

*代表者ミーティングの開始時刻は、大会1・2日目は08:30、大会3・4日目は08:50とする。ただし、大会3日目については、コート設営の状況によって、開始を遅らせる場合がある。その場合、設営完了の目処が立ち次第、競技副委員長より館内放送にて連絡する。

5. 開館および試合開始時刻は、「抽選会および代表者会議資料」に記載してある通りとする。全試合 60 分設定(試合開始時刻はホイッスル時間)で進行し、それより早く開始することはない。試合の当該チームは、前試合の両チームのコートアウト後* (試合が連続する場合は、コートアウト完了の 15 分後)、審判員の指示に従ってコートインし、10 分間 (2・3 日目の第 2 試合は 20 分間) の合同練習後、プロトコールに入る。前試合が早く終了した場合のコートイン時刻は、試合開始時刻の 25 分前とする。

* 大会 2・3 日目の第 2 試合の両チームは、第 1 試合の補助員が終了したら、速やかに試合の準備をすること。

6. 開館後から第 1 試合開始前までの試合コートでの練習は、以下の通りとする。

- | | | |
|--------|-----------------|-------------|
| 1 日目 | 08 : 35~08 : 55 | 第 3 試合の両チーム |
| | 08 : 55~09 : 15 | 第 1 試合の両チーム |
| 2・3 日目 | 09 : 05~09 : 25 | 第 2 試合の両チーム |
| | 09 : 25~09 : 45 | 第 1 試合の両チーム |
| 4 日目 | 09 : 15~09 : 45 | 第 1 試合の両チーム |

7. 大会使用球は、(公財)日本バレーボール協会検定人工皮革カラーボールとする。

男子：ミカサ (V300W) 女子：モルテン (V5M5000)

8. チームの構成は監督・コーチ・マネージャー各 1 名、選手 14 名以内とし、選手が 13 名以上の場合は、リベロプレーヤーを必ず 2 名含むこと。尚、監督・コーチ・マネージャーの各章は、規定のものを各チームで用意し、明確に判別できる位置に付けること。また、監督・コーチが外部指導者の場合は、登録証も身につけておくこと。

9. 選手のエントリーおよびベンチスタッフの変更は、参加申込書原本 (2 部) の差し替えにより行い、当該チームの初戦開始 30 分前までに、引率責任者が本部席に提出すること。提出後の変更は一切認めない。

10. 「ラインアップシート」は、公式ウォームアップ時にセカンドレフェリーまたはスコアラーに提出すること。

11. 引率責任者は、監督・コーチが共に外部指導者の場合、プロトコール時に、ファーストレフェリーによる所在確認を受けること。

12. 隣のコートで試合が行われている場合の練習はパス程度とする。

13. 公式ウォームアップ終了 15 分後になってもコートに来ないチームは失格とする。

14. 補助員 (記録・点示・ラインジャッジ) は 8 名とし、前試合の負けチームで行う。ただし、大会 1 日目の第 1 試合については、当該コートの第 3 試合 (トーナメント表の試合番号が○で囲まれている試合) の両チームで行い、大会 2・3 日目の第 1 試合については、当該コートの第 2 試合の両チームで行う。また、大会 4 日目については補助役員を配置する。

15. 給水のためのタイムアウト (給水タイム) を採用する。各セットにおいて、リードするチームが 13 点目に達した時、30 秒間の給水タイムを自動的に適用する。第 3 セットについてはチェンジコート後に適用される。また、各セットのスコアが 30-30 になった場合にも適用する。

16. 試合コートでのウォームアップおよび公式ウォームアップ中のボール拾いは、統一された服装であれば、4 名まで認める。

17. 各チームは、十分な枚数のワイピング用タオルを準備すること。モッパ―は、各チーム 2 名以内で担当すること。なお、フロアモッピングシステムについては、事前に、ルールブック (p.161-p.162) で確認しておくこと。
18. ユニフォームとは、ジャージ (シャツ)・ショーツ・ソックスを指す。ジャージ (シャツ)・ショーツは色およびデザインが、ソックスは色および長さが統一されていることとする。また、ジャージ (シャツ) は必ずショーツに入れなければならない。
19. 太鼓等*の応援は、試合進行の妨げにならない限り認める。
* 拡声器の使用は、試合への影響を考慮し、高校会場においては認めない。また、使用する際は、応援団の統制にのみ使用することとし、コートへ向けての使用は禁止とする。

審判上の確認事項

大会審判委員長

1. 本大会は、2024 年度 (公財) 日本バレーボール協会 6 人制競技規則による。
2. チームは監督・コーチ・マネージャー各 1 名、選手 14 名以内である。13 名以上の場合は、リベロを必ず 2 名含めることとする。
3. リベロは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができる。
4. リベロは、チームの他の選手と、主要な部分の色が異なるユニフォームを着用しなければならない。ユニフォームの色は、チームの他の選手とは明らかに対照的でなければならない。2 人のリベロはチームの他の選手と異なる色で、さらにお互いに異なる色のユニフォームを着用することもできる。
5. 試合開始前、監督は選手の名前、番号を記録用紙のチーム選手欄に記入するか、記入されたものを確認した後、サインする。(チームキャプテンの番号を丸で囲み、リベロの番号を記入しサインをする。) また、チームキャプテンはチームを代表してトスを行い、トスの開始前と試合終了後にサインをする。
6. 各セットの開始前、監督は、正しく記入されたラインアップシートにサインし、セカンドレフェリーまたはスコアラーに提出する。ラインアップシートが提出されたら、正規の選手交代をせずに、ラインアップを変更することはできない。
7. セット開始前に行うラインアップシートとスターティングプレイヤーの照合の際は、リベロを確認する必要はない。(リベロはベンチで待機)
8. コート上で円陣を組んで掛け声をかけるケースについては、ラインアップシート確認後は最大限スターティングメンバーの 6 名とリベロ 2 名の計 8 名までとする。
9. タイムアウトを要求できるのは、監督のみである。その際ラリー終了後に公式ハンドシグナルで明確に示すこと。
10. チームメンバーによる不法な行為 (相手に向かって”ガッツポーズ”などで挑発・威嚇する行為など) に対しては、競技規則第 21 条「不法な行為とその罰則」に則って罰則を適用する。

11. 判定に対する質問ができるのは、ゲームキャプテンのみである。監督や他の競技者からの質問は受けつけない。(判定へのアピール等は警告の対象となります。)
12. 試合の前後は、選手全員がエンドラインに整列し、主審の合図でセンターラインまで移動し、挨拶(握手)する。なお、監督とチームキャプテンは、審判員にも挨拶(握手)する。
13. 競技中のコートワイピングについては、プレーヤー自身がコートを拭くことを原則とする。(チームで乾いたタオルを多く準備して下さい。スターティングプレーヤー全員がタオルを持つことが望ましい。)ただし、ベンチ入りメンバー以外の部員からクイックモップを2名まで配置することができる。(ボールデッド後、次のサーブ許可の吹笛までにコート内の汗をチームで準備したタオルで拭き取る。タイムアウト中やセット間には、コート内のモップ掛けをおこなう。)
14. 競技中の服装について
アンダーウェア等について(競技要項 p.62 抜粋)
 - (1) アンダーウェアはユニフォームの袖や裾、首等からはみ出してはならない。ただし、プレーの動作によってユニフォームの下から見えてしまうことは故意に見せるものでない限り制限されない。
 - (2) 医療を目的としたサポーター類は、プレー上危険である場合や、プレーに有利に働く場合を除いて、規制されない。
 - (3) 明らかに色が違う腰に帯状にまくサポーター、コルセット類はユニフォームの下に着用しなければならない。
15. 各セットいずれかのチームが13点目を得た時に、審判は、給水のため30秒間のタイムアウトをチームに促す。(監督・コーチのもとに選手が集まらないように注意する。給水中はマネージャーも選手同様に給水を行う。)

総務からの連絡事項

大会総務委員長

1. 参加者全員、服装を正し高校生としてふさわしい身なりと態度を心がけてください。
2. 各会場とも、体育館以外の施設へは立入禁止です。
3. 置き引き・盗難に注意して、貴重品はチームで責任をもって管理してください。
4. 各会場とも、ごみは各チーム責任を持って持ち帰りをお願いします。
5. 更衣室・ロッカーの占有は禁止です。チームの荷物を置きっぱなしにしないでください。
6. 体育館は土足厳禁となっています。外履き内履きの区別をしっかりとしてください。また、玄関の靴を脱ぎ履きするスペースは、靴を置く場所ではありません。他の人の出入りに迷惑が掛からないよう、玄関に靴を置きっぱなしにせず、チーム関係者は靴袋等を各自で準備し、靴の管理をお願いします。
7. 高校生の運転する車両での来場は禁止です。

8. 毎回忘れ物が多数出ます、気をつけて下さい。
 9. 未登録の選手及び登録料未納の選手がいる場合、至急登録・支払いを済ませて、「チーム加入選手一覧」の差し替えをお願いします。
 10. 大会会場には駐輪場は設置していません。自転車では来場しないように協力をお願いします。
 11. 各会場、駐車場スペースは限られています。毎回、違法駐車等、近隣住民からの苦情やトラブルが発生しています。混雑を避けるため、応援団の方々は公共交通機関等を利用する等、協力をお願いします。
- ※ 以上、チーム関係者への周知徹底をお願いします。

「給水のためのタイムアウト（給水タイム）」の取り扱いについて

全国高体連バレーボール専門部審判委員会

下記の大会においては高温多湿の環境でバレーボール競技を行うと発汗により水分が失われたり、体温上昇などにより熱けいれん、熱疲労、熱射病などの「熱中症」に陥ったりすることがあります。

熱中症予防の観点から、選手、審判団の健康管理を維持するために「給水のためのタイムアウト（以下、「タイムアウト」とする）を必要に応じて採用してください。

なお、各ブロック、都道府県大会においてはすでに採用していただいているところもあると存じます。給水タイムの取り扱いについては現状に応じて取扱法を変更して採用してください。

【 給水タイム（給水のためのタイムアウト）の手順 】

1. 各セットにおいて、リードするチームが13点目に達したとき、30秒間の給水タイムを自動的に適用する。最終セットが15点制の場合は適用しないが、25点制の場合はチェンジコートをした後に適用する。
2. タイムアウトと同時に、副審がホイッスルで合図をして給水タイムに入る。30秒後に給水タイムの終了を副審がホイッスルで合図をする。
3. 給水タイムは、正規の試合中断の要求（タイムアウト、選手交代）やリベロプレイスメントより優先される。上記を行う場合は給水タイム終了後にその手続きを行う。
4. コート内の選手は自チームベンチ近くのフリーゾーンで給水を行う。
5. 給水タイムは給水だけを目的としたものなので、選手（生徒のマネージャーも含む）だけで実施される。
6. ベンチスタッフ（生徒を除く）は選手との会話は認められない。
7. タイミングが遅れた場合は、確認できた時点で給水タイムを適用する。